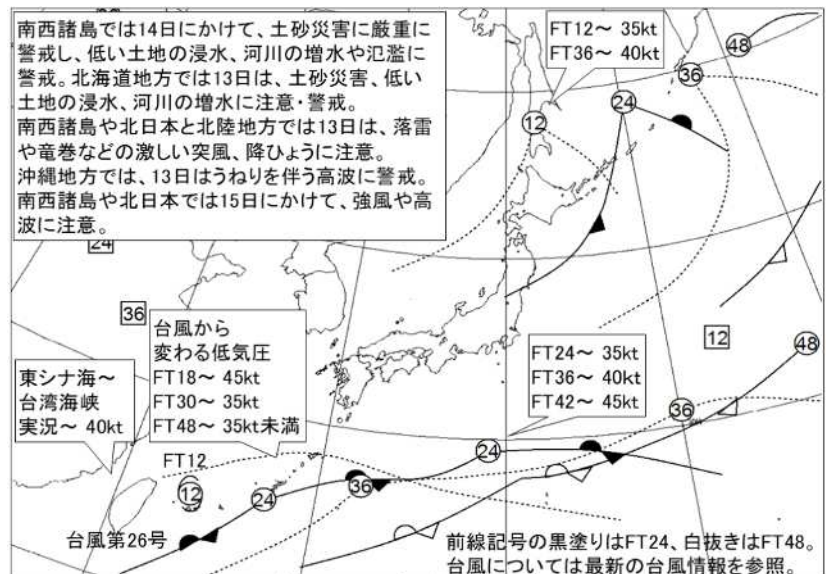


短期予報解説資料 2025年11月13日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 台風第26号が沖縄の南を東北東進。前線が台湾の北～南西諸島を通り、日本の南にのびている。南西諸島周辺では非常に激しい雨を解析し、雷を検知。メソサイクロンを検出している所もある。また、前線や台風と、日本の東及び大陸から張り出す高気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、南西諸島では強い風が吹き、波が高くしけている所がある。
- ② 500hPa 5220～5400mのトラフがアムール川中流～中国東北区を東南東進。対応する低気圧が中国東北区を東北東進している。北日本は日本の東の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、風がやや強く～強く吹き、波が高い所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 台風第26号は、13日は沖縄の南を東北東進。東シナ海～南西諸島～日本の南にのびる前線は、13日夜にかけて東シナ海～南西諸島付近ではゆっくり南下する。台風はこの前線と一体化し、13日昼過ぎまでに温帯低気圧に変わる。台風や、前線に向かう台風周辺の下層暖湿気の影響で、大気の非常に不安定な状態が続くため、雷を伴い非常に激しい雨や激しい雨が降り、大雨となる所がある。南西諸島では14日にかけて、土砂災害に嚴重に警戒し、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。また、13日は落雷や竜巻などの激しい突風に注意。台風や前線と1項①の高気圧との間で気圧の傾きが大きい状態が続くため、風が非常に強く～強く、波がうねりを伴い高く、大しけとなる所もある。沖縄地方では13日は高波に警戒し、南西諸島では15日にかけて強風や高波に注意。
- ② 1項②のトラフは、14日にかけて北日本を通過する。対応する低気圧は13日にサハリン～オホーツク海を発達しながら東北東進し、寒冷前線が北日本を通過する。また5400m付近に-27℃前後の寒気を伴うトラフが13日に北日本を通過する。低気圧や前線に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い強い雨が降り、大雨となる所がある。北日本では13日は土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。北日本～北陸地方では、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょう、急な強い雨に注意。また、低気圧と日本の東の高気圧や大陸から張り出す高気圧との間で、気圧の傾きが大きくなるため、風が強く、波が高い所がある。北日本では15日にかけて強風や高波に注意。寒冷前線通過後、北日本には850hPa -9℃前後の寒気が流入するため、平地でも雪の降る所がある。北日本では14日は、積雪による交通障害や着雪に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(6時からの24時間)：沖縄・奄美 180mm。② 降雪量(6時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。③ 波浪(明日まで)：沖縄6、奄美4、北海道・東北・九州南部3m。④ 高潮(明日まで)：東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第26号に関する情報(総合情報)」を5時頃発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。